

蔵王(夏～秋)

やまがた自然散策ガイドマップ



山形市環境部環境課

〒990-8540
山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

蔵王で見られる動植物



＜ヨツバヒヨドリ＞

亜高山帯を中心に自生するキク科の植物で、ヒヨドリバナによく似ていますが、葉が輪生する事で区別が付きまます。旅をする蝶として有名なアサギマダラが吸蜜する植物としても有名です。
(花期8月～9月)

天満宮の紋章、梅鉢の紋に似た花を咲かせるために付いた名前です。ユキノシタ科、ウメバチソウ属の植物で、中央高原散策路などに沢山咲いています。秋の蔵王を彩る花の一つです。(花期8月～10月)



＜ウメバチソウ＞



＜ナナカマド＞

オクは陸奥、モミジは葉の形、ハグマは白熊からきていて、白熊は中国語でヤクというチベットに多い牛の仲間の動物の事で、尻尾の形に花の形が似ているところから来たそうです。(花期8月～9月)



＜オクモミジハグマ＞

蔵王で見られる動植物



＜アサギマダラ＞

渡りをする蝶で知られています。8月中旬頃中央ゲレンデのヨツバヒヨドリの花に好んで集ってきます。環境課では渡りの調査のために毎年、アサギマダラ・マーキング観察会を開催しています。
(出現時期8月上旬～9月上旬)

7月中旬頃から最も多く見られるトンボです。本種は移動することが知られており、夏の高温期、より気温の低い高標高の地へと移動します。この結果、蔵王などの山では珍しい数の本種が集ります。
(出現時期7月中旬～10月中旬)



＜アキアカネ＞



＜カケス＞

低い山地に生息し、冬は平地にも下ります。フワフワと直線的に飛び、比較的警戒心が強い鳥です。しわがれた大きな声でジェーイ ジェーイと鳴き、昆虫などのほかにドングリも食べます。(留鳥)

みは頬とのどは赤色ですが、♀は赤くありません。亜高山帯の針葉樹林で繁殖し、フィー フィーと口笛のような柔らかな調子で鳴きます。冬は木の実のほか花芽も食べます。(漂鳥)



＜ウソ＞